

平成22年度JAおおぞら原木しいたけ部会  
会 議 資 料

日 時：平成22年6月15日（火）

15：00～16：00

場 所：JAおおぞら本店3階会議室

次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 協議事項

- 1) 平成22年度格付共販事業実施要領について
- 2) 平成22年度乾椎茸共選場運営収支計画について
- 3) 平成22年度原木しいたけ部会活動計画について

4. 閉 会

JAおおぞら

1) 平成22年度格付共販事業実施要領について

2) 平成22年度乾椎茸共選場運営収支計画について

### 3) 平成22年度原木しいたけ部会活動計画について

#### ①平成21年度乾椎茸支店別実績

支店名	出荷戸数(戸)	販売数量(kg)	販売金額(円)
穴水支店	1	86.4	219,634
門前支店	16	1648.9	4,088,852
輪島支店	4	497.3	1,312,028
能都支店	1	181.9	298,734
柳田支店	1	119.8	527,117
合計	23	2,534.3	6,446,365

※上記販売実績は全農手数料(選別経費を含む)を控除した金額です。

#### ②平成22年度原木しいたけ部会活動計画

開催時期	内容	備考
6月15日	格付け講習会	乾椎茸規格確認
7月上旬	栽培講習会	ほだ場検診
10月下旬	栽培講習会	ホダ木伐採・管理について
11月下旬	栽培講習会	植菌について
1月	栽培講習会及び 生産販売検討会	植菌について 販売経過及び来年度計画

# 1) 平成22年度格付共販事業実施要領について

J A全農いしかわ

## 1. 趣 旨

奥能登地区を中心に生産されている乾椎茸は地域の重要な産物であるが、生産者の高齢化とともに年々生産量は減少しており、また18年5月に施行されたポジティブリスト制度導入により椎茸栽培においても農薬の飛散等への対応など安全・安心への新たな取組みが必要となっている。

このような中で、安全で美味しい能登産乾椎茸の生産拡大と、消費地における銘柄浸透と有利販売を実現するため、生産者・J Aが一体となって乾椎茸格付共販事業を実施し、農家経営の安定に資する。

## 2. 受入対象

- (1) 原則として県内の乾椎茸生産者で、J Aを通じて全農いしかわに委託された乾椎茸であり、格付共販品の品柄を統一するため農協種菌乾椎茸を対象とする。
- (2) 所定のフルイにより、大葉、中葉、小葉に選別したものを原則とする。

## 3. 受入期間

4月から9月までとする。但し共選場稼働期間内であれば、J Aと協議のうえ受入について決定する。

## 4. 持 込

- (1) J A毎に集約し、乾椎茸格付共選場と協議した上、指定した日時に持込むものとする。
- (2) 共選場指定のポリ袋(大、中)、紙袋又はクラフト紙(大、中)、ダンボール箱(大、中)に詰め、所定の位置に通し番号、内容量、生産者名を鉛筆書きし、二の字に掛けて持ち込む。
- (3) 共選場までの持込運賃は生産者負担とする。

## 5. 受入検査、結果報告

出荷J A、全農いしかわの立会いのもとで、検量を行うとともに、受け入れ検査員が選別程度(完、良、中、未)、品質の程度(上、並、下)について、受け入れ検査を行い、その結果をJ Aに通知する。

## 6. 選別の程度、受入検査基準並びに共選料及び格付料

### (1) 受入検査基準並びに共選料(消費税別途)

選別の程度	受入検査基準	共選料
未	品柄・品質とも未選別なもの(山成品)	400円/kg
中	規格フルイを使用し、大、中、小葉にフルイ下に区分されているもの	300円/kg
良	こうしん、どんこ、特用品に区分、規格フルイを使用し、大、中、小葉に区分がなされているもの	200円/kg
完	選別規格に基づき選別が完全になされているもの	100円/kg

(2) 格付料 30 円/kg (消費税別途)

(3) 共選受入対象外

- ① 格外品 (カケ、コナ等) が 30 パーセント以上混入しているもの。
- ② 乾燥不十分なもの。
- ③ 油臭のするもの。
- ④ 虫害、カビのあるもの。
- ⑤ スライス品。
- ⑥ ふた材等異物が混入しているもの。
- ⑦ 薬品を使用しているもの。
- ⑧ 格付共選品の質を低下させるもの。

7. 品質受入基準及び概算金単価

(1) 品質受入基準及び概算金単価

品質	受入検査基準	概算金単価
上	大、中、花、上、並どんこ、特中上、特大上厚、	3,500 円
並	小葉、特小上、特大厚、特並 (大、中) 特小上厚	2,000 円
下	特大厚○、ふるい下、特小並、特下厚、小どんこ、特小厚、特小厚○、 加工大、加工小	1,000 円

(2) 支払い条件

受入日を基準に毎月 15 日・月末締切りとし、15 日締切りについてはその月の月末に、  
月末締切りについては翌月の 15 日支払とする。なお支払日が金融機関の休日にあたる  
場合には、その翌日に繰り下げるものとする。

8. 格付規格

全農格付共選規格とする。

<格付共選規格表> (精算規格)

銘柄	規格等級	かさの径	銘柄	規格等級	かさの径	銘柄	規格等級	かさの径
こ う し ん	中上中	5 cm 以上	ど ん こ	花	3 ~ 5 cm	特 用	小上	3 ~ 5 cm
	中上厚	5 cm 以上		上			小並	
				並			小上厚	
	小上中	3 ~ 5 cm		特	小		3 cm 以下	下厚
大並			7 cm 以上		大厚○		5 cm 以上	
					大上厚		5 cm 以上	小厚○
大厚			5 cm 以上		加 工	大	5 cm 以上	
中上	5 cm	小	2 ~ 5 cm 以上					
小上厚	3 ~ 5 cm	用	中並	5 ~ 7 cm	規 格 外			
ふるい下	3 cm 以下		中厚		計 24 規格			

9. 格 付

格付けは全農、(財)日本きのこセンター認定規格格付員により前項の規格に基づき各  
生産者毎に行う。

## 10. 販 売

原則として、全農いしかわが全農椎茸事業所を通じて販売する。

## 11. 精 算

販売代金の精算は、原則として4月から2月までの年間プール計算で行うものとする。

### (1) 精算は次により行う

① 仮精算 11月末で年間試算を行い、仮精算単価を算出し、概算金及び共販諸経費（推定）を控除のうえ12月に仮精算を行う。

② 精 算 2月末日までに最終販売単価を算出し、概算金及び共販諸経費を控除のうえ3月末日までに最終精算を行う。

③ 仮精算、精算は幹事会を経て決定する。

### (2) 共同計算における精算の規格別価格算出

① 精算規格は24規格とする。

② 規格別価格は実績を基に算定する。

### (3) 販売代金金利と概算金金利の精算

販売代金は精算時まで全農いしかわが預かり、この金利と概算金支払及び諸経費に掛かる金利を相殺し、精算時に加算、減算する。

### (4) 共販諸経費等

① 共販諸経費（共選料、格付料、出荷経費、販売諸経費等）については、精算時に仮精算時との差額を控除する。

② 共選場運営に伴う損益については仮精算、精算時において精算する。

## 12. 監事の設定

監事を2名選出し同事業について監査する。

## 13. その他

この要領に定めのない事項については、幹事会にて協議後本会が決定する。

## 14. 適用期間

平成22年4月1日～平成23年3月31日

2) 平成22年度乾椎茸共選場運営収支計画

集荷量16t

単位：円

項目	22年度計画	備考	21年度実績	備考	20年度	19年度	18年度	17年度
収	共選料 4,800,000	16,000kg×300円(加重平均)	4,917,170	16,491.3kg×298.17円	17433.9kg	13105.0kg	17965.0kg	21131.0kg
	格付料 480,000	16,000kg×30円	494,739	16,491.3kg×30円				
	計①		5,411,909		5,730,217	4,276,522	5,846,722	6,890,990
入	共選労務費 3,560,000	14日×6ヶ月×750円×4.4時間×13人	3,694,051	224,000円/t				
	格付労務費 480,000	格付員手当て	494,739	格付員手当て				
	消耗品費 23,000	乾椎茸選別台帳	27,600	乾椎茸選別台帳、共選シール				
	諸税負担金 130,000	固定資産税	129,700	固定資産税				
	修繕費 100,000	共選場修繕、パソコン保守	125,300	共選場修繕(選別機駆動部)パソコン保守				
	施設管理費 180,000	北陸電気保安協会、消防設備点検	185,131	北陸電気保安協会、消防設備点検				
	保険料 76,000	作業場、製品火災保険、フォークリフト保険	76,428	作業場、製品火災保険、フォークリフト保険				
	賃借料 16,000	パソコンリース代	16,186	パソコンリース代				
	水道光熱費 180,000	電力、燃料代	185,772	電力、燃料代				
	原価償却費 500,000	冷蔵庫、除湿機	701,000	冷蔵庫、除湿機				
	旅費 30,000	品評会参加助成	30,000	品評会参加助成				
	会議費 5,000	会議資料他	10,000	会議資料他				
	雑費 0	掃除用具代他	0	掃除用具代他				
	計②		5,280,000		5,888,249	4,344,114	5,824,483	6,510,306
損益	①-②		0		-158,032	-67,592	22,239	380,684

(注) 共選場空調(冷房)施設更新の場合、原価償却費500,000円の赤字となり、32円/kgの追徴となります。